

## 5月の学校朝会。失敗は成長につながるのです。四つ葉のクローバーのお話



5月の学校朝会は、失敗のお話をしました。といっても失敗をしたお話ではありません。失敗をした子どもたちに元気が出るようなお話をしたかったのです。

学校朝会は毎月1日に行う集会です。内容は、校長講話と今月の生活目標についての大田先生のお話です。5月の学校朝会は、4月を振り返ってほしいという思いもあってこの講話にしたのです。また、現状のような変化の激しい世の中で、もし、うまくいかないことがあっても、そのときに、どうすればよいか考えることができる子どもたちに育ててほしいという願いもありました。

詳しい内容は、「校長先生の虫眼鏡」に書いてありますが、「4月は楽しかった？うまかった？」と尋ねると、手を挙げた子どもが多かったです。新しい学年、新しい先生。今年度は持ち上がりの学年がなかったので、みんなが新しい先生とがんばった4月だったのです。それもあって、手を挙げた子どもが多かったのかなと思いました。しかし、そうでなかった子どももいたのです。敢えて、拳手はさせませんでした。心の中で「そうだよなあ」と思いながら、この講話にしてよかったと思ったのでした。

まず「辛」+「一」のお話をしました。辛いという字に「一」を足すと「幸」になるお話です。私はその昔、部活動でバスケット部を指導していた時によく使っていた言葉でした。「この練習は辛いかもしれないけど、あと一本がんばれば、幸せになるんだ。」と激励していたことを思い出しました。

さらに、四つ葉のクローバーのお話です。ラッキーの象徴である四つ葉のクローバーは、その希少性から「ラッキーアイテム」として認識されているのですが、実は、傷つくことによって三つ葉だったものが、四つ葉にかわるのだそうです。私は、最近になるまでこのことを知らなくて、人気キャラクターが出るある情報番組を見ていた時に知ることができたのでした。傷ついた分、栄養を集めることによって、三つの葉が四つに枝分かれするのだそうです。自然の力ってすごいものです。

(裏面に続きます)

だからこそ、失敗した時も同じなのです。お友達とけんかしたり、叱られたり、悪口を言ったり、言われたりして落ち込んだり、悩んだりすることはクローバーの葉が踏まれて傷ついているのと同じなのです。大事なのは、四つ葉のクローバーがその傷を治そうと頑張るように、悩みや苦しみを乗り越えようとしていくことではないでしょうか。

あと少し、がんばれば届くこともあるでしょう。簡単にあきらめるのではなく、乗り越えていく勇気をもってほしいと思います。そんなことを伝えたくて、お話しした5月の学校朝会でした。

5月は、負けずにがんばった子どもが増えていたらいいなと思う校長先生でした。(校長)

## 校長先生の虫眼鏡 「5月学校朝会」

学校朝会原稿 「四つ葉のクローバーは傷から生まれる」

みなさん、おはようございます。4月があったという間いってしまいましたね。今日からいよいよ5月、皐月になります。がんばりましょう。でも、その前に4月を振り返ってみてください。どんな月でしたか？簡単に言ってごらん。

楽しい月でしたか。うんうん、みんな全員うまくいきましたか？中にはそうでない人もいたかもしれませんね。例えば、友達とけんかばかりになったりした人がいるかも。担任の先生や家族の方に叱られて、自信をなくしている人がいるかもですね。「心が傷ついたあ」と悲しんでいる人も中にはいるかもしれません。そんな時って、やる気が出ないですね。勉強にも力が入らないし、もしかすると遊んでいてもつまらないかもしれません。できれば、そんな気持ちからは早く立ち直りたいですね。

みなさんは、「辛い」って字を知っていますか。からいとも読みますが、つらいと読むのです。みんなには、つらい思いはできればしてほしくないのです。でもね、「辛」という字をよく見てください。この字に一本の横棒をたすと「幸」という字になるのです。だから、辛いことがあってもあと一本がんばれば、幸せになれるということなのです。辛いことはもう少しで幸せになることだと考えることもできるのですよ。

実は、こんなお話があります。みなさんクローバーって植物知っていますか。さあ葉っぱは何枚でしょうか。そう、普通は3枚なのです。でもね、時々、四つ葉が見つかるのです。見つけたことありますか。とてもめずらしいので、見つけるとみんな喜びます。ラッキーなお宝なのです。

では、なかなか見つからない四つ葉のクローバーですが、実は見つけやすい場所があるのだそうです。どこでしょう？それは、人がたくさん通ったり、車がクローバーの上を通ったりしてクローバーが踏まれたり、折れたりしやすい場所だということです。

なぜ、そのようなところで四つ葉のクローバーは見つかるのでしょうか。

実はね、クローバーの葉は、小さい赤ちゃんの葉がだんだん大きくなる時に、踏まれたり傷つけられたりすると一つの葉が二つに分かれてしまうことがあるのだそうです。そうすると、傷を治そうとしていっぱい栄養分を出すのだそうです。そのたくさんの栄養で、三枚だった葉が、四枚に変化するのだそうです。そのまま大きくなったのが四つ葉のクローバーなのだそうです。ラッキーなお宝の四つ葉のクローバーですが、生み出したのは誰かにつけられた傷だったのです。その傷を治そうとする力が四つ葉を生み出したのです。

みなさんも同じではないでしょうか。お友達とけんかしたり、失敗したり、叱られたり、悪口を言ったり、言われたりして落ち込んだり、悩んだりすることはクローバーの葉が踏まれて傷ついているのと同じではないですかね。

四つ葉のクローバーと同じで、その傷を治そうと頑張ること。落ち込んだり悩んだりすることに負けずに乗り越えようとしていくこと。その先に、辛さを乗り越えた幸せが待っているのだと思います。

今、この中に、元気をなくしている人がいるのならば、この四つ葉のクローバーの話思い出して、乗り越えていく勇気をもってください。そして、人に幸運を与える四つ葉のクローバーになってほしいと思います。

そして、みんなで何事にも負けない強い心を育てていきましょう。それがまわりの人に対するやさしさにつながります。5月もぜひ、思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょう。

